

令和4年度第3回

平塚市文化財保護委員会 会議次第

日時：令和5年2月15日（水）

午前10時から

場所：平塚市美術館アトリエA室

あいさつ

1 報告事項

(1) 令和4年11月30日付け答申文化財の指定について（資料1）【公開】

(2) 文化財防火デーに係る消防訓練の実施について（資料2）【公開】

(3) 平塚市内文化財の調査について（資料3）【公開】

(4) 令和5年度の事業計画について（資料4）【公開】

2 審議事項

今後の文化財指定等について（資料5）【非公開】

3 その他【公開】

以上

公 開

平塚市文化財保護委員会 資料 1

令和 4 年度第 3 回文化財保護委員会

令和 5（2023）年 2 月 15 日

平塚市美術館アトリエ A 室

平塚市教育委員会告示第14号
令和4年(2022年)12月28日

平塚市教育委員会
教育長 吉野雅裕



平塚市文化財保護条例(昭和32年条例第23号)第3条の規定に基づき、
次の物件を、平塚市指定重要文化財に指定する。

記

	種別	名称	員数	所在地	所有者
1	有形文化財 (考古資料)	三筋壺と伊勢型鍋	三筋壺1点 伊勢型鍋1点	平塚市浅間町 9番1号	平塚市(平塚市教育委員会所蔵)
2	有形文化財 (考古資料)	錠前牡金具	1点	平塚市浅間町 9番1号	平塚市(平塚市教育委員会所蔵)

以上

公 開

平塚市文化財保護委員会 資料 2

令和 4 年度第 3 回文化財保護委員会

令和 5（2023）年 2 月 15 日

平塚市美術館アトリエ A 室

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

神奈川県

行事名称	令和4年度文化財防火デー消防訓練
実施期間・日時	令和5年1月23日(月) 15:00~16:00
実施場所	宗教法人 北金目神社(平塚市北金目3-17-11)
主催者	平塚市消防本部(消防救急課)

■実施内容

訓練の想定

北金目神社から出火し、市指定重要文化財「北金目神社本殿」が延焼した恐れがあるとの想定で訓練を実施した。

訓練の内容

北金目神社役員が神社からの出火を確認し、通報や周辺に火災発生を知らせたうえで消火器による初期消火を実施。通報を受けた消防部隊は指揮本部を設置し、ホースによる放水を実施。

参加者及び役割分担

北金目神社役員(4~5名): 通報、初期消火、避難

平塚市消防本部・消防署・平塚市消防団(約30名): 全体総括、放水訓練

平塚市教育委員会(3名): 立ち合い

記者(2名): 取材

特に工夫した点

- ・回覧板等で近隣住民への訓練実施の周知と参加の呼びかけ(実際に子どもや家族連れが何組か見学に来ていた)
- ・消防救急課による訓練実施の記者発表
- ・消防職員による状況説明や通報時のポイント、初期消火の方法等の解説

問題点・課題

- ・境内までの道路が狭く、傾斜も大きいため消防車両が通りづらい
- ・本殿が指定文化財のため、外への搬出ができない

その他

北金目神社での消防訓練実施は初めてであり、子どもから大人までが複数見学に来ていた。新たな層へ防火活動や文化財保護の大切さについて、普及・啓発ができた。また、北金目神社総代は、「自身も過去に消防団員の経験があり、改めて防火活動や文化財の保護の大切さを実感した。」と語った。

訓練風景

初期消火の様子



指揮の様子



放水訓練の様子



公 開

平塚市文化財保護委員会 資料3

令和4年度第3回文化財保護委員会

令和5（2023）年2月15日

平塚市美術館アトリエA室

本報告書は、2022年11月25日（金）、平塚市文化財指定作品、神田宗庭要信筆「絹本着色 観世音菩薩三十三身曼荼羅」及び「十一面観音菩薩像」についての中間調査報告を記すものである。

調査は、平塚市文化財保護委員吉田英里子により行われ、同作品は現在、平塚市博物館に寄託管理されているため、同館の館長代理及学芸員の立ち合いのもとに平塚市教育委員会職員の協力を得て実施された。

調査者

平塚市保護委員 吉田英里子

調査協力者

平塚市博物館館長代理 学芸担当長 川端清倫

平塚市博物館 学芸員 早田旅人

平塚市教育委員会 柳川優希菜

以下にその概要を記す。

1 材質装丁

① 平塚市指定文化財

「絹本着色 観世音菩薩三十三身曼荼羅」（平塚市教育委員会所蔵）

法量

描表装含 228・9センチ×175・6センチ

本紙 163・2センチ×149・5センチ

軸裏墨書銘 「神田宗庭要信謹畫之」

印 「藤原要信」

桐二重箱入り

桐内箱蓋墨書 「観世音菩薩三十三身曼多羅」

② 平塚市博物館 寄託

「紙本着色 十一面観音菩薩像」

法量

描表装含 163・0×62・6センチ

本紙 92・2×44・8センチ

落款印象 無

箱無

2 筆者藤原要信（1826～1875）について 『古画備考』参照。

神田家は、江戸幕府との関係が深く、寛永寺・浅草寺中心に制作、代々神田宗庭を名乗る深秘絵師。神田宗庭要信は、その第九代にあたること、神田、宗庭が十代まで継承されたことが墓碑銘から認められる。また、要信の作品は日光山輪王寺にも一点伝来している。

3 図様及び表現

① 「絹本着色 観世音菩薩三十三身曼荼羅」

外陣の円相内には、左右角に風神雷神を配した二十八部衆を描く。風神は緑青、雷神は朱で表す。外陣と内陣は独鈷杵を組み合わせた帯で区画する。蓮華唐草の描表装の絵も丁寧で、良質の顔料を使用していることも見て取れる。また各尊像の描写も丁寧で、二十八部衆の衣裳には金泥で文様が施されている。

内陣の中央には、十一面観音菩薩が岩座の上の蓮華座に立ち、頭上に蓮華の天蓋を配する。天蓋の左下には、内陣の右上角には与願施無畏印の如来坐像を描き、左上角には下品上生印の如来坐像を描く。今回の精査により右上の如来は釈迦如来、左上の如来は阿弥陀如来と推定される。十一面観音菩薩の左上に白く塗られた月が描かれる。

三十三観音に関する細かい解説は、丸島隆雄「観世音菩薩三十三身曼荼羅」に描かれた三十三観音について『平塚市文化財報告書』第33集 平成10年に詳細な報告がなされている。

② 「十一面観音菩薩像」

唐草文様の描表装の体裁をとる。彩色の施された紙本を用い、二重框座上の蓮華座の上に立つ十一面観音像を描く。観音菩薩は左手に蓮華を挿した水瓶を持ち、観音菩薩の頭上に宝珠を頂く天蓋を描く。観音の頭光は放射状に円弧を描く。頭光及衣服の文様には截金や金泥を用いるが、彩色の明度はさほど高く無く、退色が見られる。画面には、数か所横皺も目立ち、早急に修復されることが望ましい。

補足

「絹本着色 観世音菩薩三十三身曼荼羅」は、現時点において紹介されている神田宗庭の仏教絵画としては大幅で、比較的状态もよく、近世絵画史研究上も貴重な作品と判断する。

残念ながら、その来歴を軸裏墨書銘に記す「阿弥陀三尊来迎図」が現在所在不明であるが、『平塚市文化財報告書』第29集 平成6年にその翻刻がなされており、文久四年に浄圓坊が慈純大僧都より譲り受け、明治四年に豊田村東組大念仏講に寄附されたことがわかる。

なお、早急な「阿弥陀三尊来迎図」の所在確認が望まれ、三幅が同一筆者である可能性の問題も含め、今後も調査を続行していきたい。

【主要参考文献】

『平塚市文化財報告書』第29集 平成6年

『平塚市文化財報告書』第33集 平成10年

丸島隆雄「観世音菩薩三十三身曼荼羅」に描かれた三十三観音について」

吉田英里子「平塚市文化財指定理由書」



絹本着色 觀世音菩薩三十三身曼荼羅



紙本着色 十一面觀音菩薩像



阿彌陀三尊來迎圖



阿彌陀三尊來迎圖 軸裏墨書

公 開

平塚市文化財保護委員会 資料 4

令和 4 年度第 3 回文化財保護委員会

令和 5（2023）年 2 月 15 日

平塚市美術館アトリエ A 室

I 文化財の保存と管理

1 文化財保護委員会

平塚市文化財保護条例（昭和32年10月2日条例第23号、昭和52年3月26日最終改正）に基づき設置した市の附属機関で、委員会の委員は7人。学識経験者を市教育委員会が委嘱し、任期は2年間。

委員会は、文化財の保存及び活用に関し市教育委員会の諮問に答え、又は意見を具申し、このために必要な調査研究を行う。

□ 文化財保護委員会の開催

- ・文化財保護事業について
- ・文化財指定等について

氏名	専門分野	所属等
吉田英里子	美術史	中央大学講師
近藤英夫	考古学	東海大学名誉教授
吉田綱市	建築史	横浜国立大学名誉教授
小川直之	民俗学	國學院大學教授
薄井和男	彫刻史	元神奈川立歴史博物館館長
兼平賢治	近世史	東海大学准教授
丸島隆雄	地域史	東海大学講師

2 文化財の保存と管理

(1) 指定文化財

□ 文化財の指定

文化財保護委員会にて指定候補文化財の検討を行う。

□ 指定文化財の現状変更

文化財保護条例に基づき、指定文化財の所有者、現状の変更等について承認を行う。

(2) 埋蔵文化財包蔵地の把握・周知

神奈川県および平塚市の試掘確認調査等の結果、範囲等の変更を要する埋蔵文化財包蔵地について、神奈川県教育委員会に報告する。

(3) 文化財（指定・登録文化財）の管理（修理）

指定・登録文化財の管理や修理に関する所有者からの相談に対し、必要に応じて助言と承認を行う。

令和5年度は、市指定文化財「正福寺木造薬師如来立像」の修理を予定。

(4) 旧横浜ゴム平塚製造所記念館の管理

日常的な維持管理は指定管理者が実施する。大規模修繕等は市教育委員会で実施する。

(5) 説明板・案内板等の管理

市内の文化財について、由来や解説を記した説明板・案内板、位置を示した道標などを設置しており、経年劣化に伴う盤面交換や、記載内容の更新、安全点検等を行う。

(6) 演技指導者の派遣

人形浄瑠璃の演技指導のため、人形浄瑠璃指導員を委嘱し、前鳥座に派遣している。令和5年度は、6回の演技指導を予定する。

(7) 防災訓練

文化財防火デーにあわせ、文化財を火災、震災その他の災害から守り、市民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、防火査察と消防訓練を実施する。

(8) 指定文化財の状況確認

指定文化財の状況確認及び所有者からヒアリングを行う。令和5年度は防火査察の調整に併せ、その前後での実施を予定。

(9) 文化財資料の管理

□ 文化財及び文化財資料の収蔵

市内で民間発掘調査機関が発掘調査を行った埋蔵文化財及び関連資料について、調査報告書の刊行後に調査機関から引き渡しを受け、平塚市にて収蔵する。

□ 出土資料等の保存処理委託

過去の発掘調査で出土した出土資料等を劣化・消滅から守り、良好な状態での保存を可能にするため、専門知識のある業者に保存処理を委託する。

(10) 補助金等交付

□ 文化財の管理・保持者が当該文化財の保護・維持管理に必要とする費用について、市文化財保護条例および同施行規則並びに各補助要綱に基づき、以下の補助金を交付する。

補助金名	概要
指定文化財保存修理等補助金	市指定文化財「正福寺木造薬師如来立像」修理
平塚市指定文化財保存管理奨励補助金（有形）	
平塚市指定文化財保存管理奨励補助金（無形）	
平塚市文楽人形伝承団体補助金	
平塚市歴史再発見活動団体補助金	

□ 平塚市以外の補助金・助成金等

神奈川県及び民間の補助・助成制度について適宜情報提供し、その活用を促す。

II 文化財の調査

1 有形・無形文化財の調査

(1) 指定候補案件など

指定候補となる各種文化財について、指定に向けて必要な調査・情報収集を実施する。

(2) その他

市民から受けた文化財の指定に関する要望・相談に対し、必要に応じて調査・情報収集を実施する。

2 埋蔵文化財の調査

(1) 埋蔵文化財包蔵地に対する照会など

市内で実施される建築や開発に際し、当該地が周知の埋蔵文化財包蔵地や条例で規定する包蔵地周辺に該当するか、また法令等の手続きの要不要についての照会に応じる。また、それらの土地で掘削を伴う土木工事を計画する場合、事前に事業者とその取扱いについて協議し、事業者の依頼に基づき試掘確認調査を実施する。

(2) 開発などに伴う調査

❑ 取扱い協議の結果、計画の土木工事が埋蔵文化財に影響を及ぼす場合、記録保存のための発掘調査を指導する。

❑ 文化財認定

発掘調査等により遺物を発見した場合には、文化財保護法第 100 条に基づき警察署に発見届を提出するとともに、県教育委員会宛て保管証を提出する。神奈川県教育委員会における監査を経て、当該出土品は文化財と認定され、認定通知が発出される。

(3) 民間調査組織による発掘調査に対する監理・指導

「神奈川県内における開発事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査の指導等に関する要綱」に基づき、市内において発掘調査を実施する民間発掘調査組織に対し、発掘調査・整理作業・報告書刊行の各段階で必要な指導・助言を行う。

(4) 平塚市教育委員会による資料整理

❑ 平成 14 年度に実施した、試掘・確認調査（平塚市試掘・確認調査報告書 5）

❑ 平成 8 年度に実施した民間開発事業に伴う発掘調査（天神前遺跡第 10 地点：平塚市埋蔵文化財シリーズ 56） 2 か年計画のうちの初年度

(5) 調査報告書の刊行 【平塚市教育委員会発行予定】

- 平塚市試掘・確認調査報告書 5
- 平塚市埋蔵文化財シリーズ 54 山王 B 遺跡第 7 地点

III 文化財の普及と活用

1 文化財の普及

□ 文化財写生コンクール

身近に存在する古い建物や道具、遺跡からの出土品、地域のお祭りや蒸気機関車を題材とした市内の文化財を写生することで、地域の歴史を身近に感じ、文化財を将来にわたって末永く保存していく意識を醸成することを目的に実施する。

□ 第47回ひらつか民俗芸能まつり

平塚市内の各地区に古くから伝承されている伝統芸能を広く市民に紹介し、その理解と認識を深め、将来にわたりこれらの芸能を伝承していくことを目的として、民俗芸能まつりを開催する。

【人形浄瑠璃芝居の部】【囃子太鼓の部】

□ 遺跡調査・研究発表会

平塚市内で行われた遺跡調査によって得られた調査・研究成果を広く市民に公開するとともに、文化財の活用及び愛護意識の普及を目的として実施する。実施方法は検討中。

□ 八幡山の洋館「文化・歴史講座」

国登録文化財である「旧横浜ゴム平塚製造所記念館」のPRと活用の一環として、同館を会場に講演会を開催する。

□ 第51回相模人形芝居大会

国または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の五座が一堂に会し、日頃の鍛錬の成果を鑑賞することにより、郷土芸能の保存伝承と普及啓発を図るため、相模人形芝居大会を県内4市が持ち回りで開催している。令和5年度は厚木市にて開催する予定である。

□ 体験学習（勾玉づくり教室）

文化財愛護意識の普及及び啓発のため勾玉づくり教室を開催し、文化財に触れる機会を提供する。

会場 平塚市埋蔵文化財調査事務所

□ 学校関連事業（校外学習）

相模歴史ウォークと題し、相模小学校6年生を対象に、大神埋蔵文化財収蔵施設の見学会を実施する。

会場 大神埋蔵文化財収蔵施設

□ 指定文化財の特別公開

令和4年度に指定された三筋壺と伊勢型鍋、錠前牡金具を中心に、平塚市博物館で5月以降に展示する。

2 文化財の活用

□ 展示

展示施設	資料名	備考
平塚市博物館	市内出土考古資料	
地区公民館	地域出土考古資料	大原・神田・城島・土屋・旭南 各公民館
進和ルネッサンス	原口遺跡出土資料	
平塚市埋蔵文化財調査事務所	市内出土考古資料	

□ 貸出

指定文化財の貸出

申請者	利用目的・内容	指定文化財名	貸出期間（予定）
湘南座	公演の稽古	乙女文楽かしら（沢市・静）・衣装ほか	R5.4.1～R6.3.31

その他文化財の貸出

申請者	利用目的・内容	資料名	貸出期間
東京国立博物館	平成館考古展示室常設展示	林B遺跡出土緑釉陶器ほか 3点	R5.4.1～R6.3.31
高麗博物館	交流の歴史紹介画像使用	山王 A 遺跡遺物出土状況 写真	R2.5～
平塚市博物館	常設展示・特別展示	市内出土考古資料 乙女文楽かしら（団七・女 形）	R4.4.1～R5.3.31

IV 附編

平塚市内の指定文化財一覧

令和5年2月1日現在

1. 国指定文化財 3件（彫刻1、建造物1、史跡1）

No.	種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
1	有形：彫刻	木造 不動明王立像	1 軀	昭 8.1.23	(宗) 八剱神社
1	〃：建造物	光明寺本堂内厨子 (付) 前立聖観世音菩薩像	1 基	昭 45.6.17	(宗) 光明寺
1	史跡	五領ヶ台貝塚	—	昭 47.7.29	平塚市

2. 神奈川県指定文化財 8件（彫刻2、工芸品1、建造物2、有形民俗2、無形民俗1）

No.	種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
1	有形：彫刻	木造 大日如来坐像	1 軀	平 3.2.8	(宗) 高林寺
2	〃：〃	木造 金剛力士立像	2 軀	平 3.2.8	(宗) 光明寺
1	〃：工芸品	光明寺銅鐘	1 口	昭 38.9.20	〃
1	〃：建造物	四脚門	1 棟	昭 48.12.21	(宗) 妙覚寺
2	〃：〃	光明寺観音堂（本堂）	1 棟	昭 54.2.16	(宗) 光明寺
1	〃：民俗	正福寺の庚申塔	1 基	平 18.2.14	(宗) 正福寺
2	〃：〃	長楽寺の庚申塔	1 基	平 18.2.14	(宗) 長楽寺
1	無形：民俗	相模人形芝居前鳥座	—	昭 57.2.9	前鳥座

3. 平塚市指定文化財 48件（絵画15、彫刻12、建造物2、古文書2、古記録3、考古9、民俗1、工芸品1、無形民俗3）

No.	種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
1	有形：絵画	絹本着色 僧空海画像	1 幅	昭 33.9.9	(宗) 芳盛寺
2	〃：〃	風外慧薫墨画・墨蹟	16 幅	平 6.1.20	平塚市博物館
3	〃：〃	大山寺縁起絵巻	2 巻	平 6.1.20	〃
4	〃：〃	中原御宮記	1 巻	平 6.1.20	〃
5	〃：〃	絹本着色 観世音菩薩三十三身曼荼羅	1 幅	平 9.10.1	〃
6	〃：〃	絹本着色 法然上人像	1 幅	平 7.10.25	(宗) 善徳寺
7	〃：〃	絹本着色 観心十界曼荼羅図	1 幅	平 7.10.25	(宗) 長善寺
8	〃：〃	絹本着色 親鸞聖人像・浄土七高僧像・聖徳太子像・蓮如上人像	4 幅	平 7.10.25	(宗) 真福寺
9	〃：〃	紙本墨画淡彩 十六羅漢図	双幅	平 8.10.1	(宗) 福田寺
10	〃：〃	紙本着色 十王図	双幅	平 8.10.1	〃
11	〃：〃	紙本着色 涅槃図	1 幅	平 11.10.1	(宗) 神田寺（旧観音寺）
12	〃：〃	紙本着色 十王図のうち五道転輪王	1 幅	平 11.10.1	〃
13	〃：〃	紙本版摺着色 十二天像のうち十一天	11 幅	平 15.10.22	(宗) 芳盛寺
14	〃：〃	紙本着色 如意輪観音像	1 幅	平 15.10.22	(宗) 長善寺
15	〃：〃	東川斎桂山筆 不動明王二童子像	1 幅	平 28.2.3	個人(平塚市博物館寄託)
1	〃：彫刻	木造 聖観世音菩薩立像	1 軀	昭 35.3.31	(宗) 光明寺
2	〃：〃	木造 薬師如来立像	1 軀	昭 45.6.13	(宗) 宝積院
3	〃：〃	木造 薬師如来立像	1 軀	平 4.3.5	(宗) 正福寺
4	〃：〃	木造 十二神将立像	12 軀	平 4.3.5	〃
5	〃：〃	木造 阿弥陀如来立像	1 軀	平 4.3.5	(宗) 善福寺
6	〃：〃	木造 地藏菩薩坐像	1 軀	平 4.3.5	(宗) 善徳寺
7	〃：〃	木造 薬師如来坐像	1 軀	平 4.3.5	(宗) 平等寺
8	〃：〃	木造 阿弥陀如来及び観音・勢至両菩薩立像	3 軀	平 4.3.5	(宗) 薬王寺
9	〃：〃	木造 地藏菩薩半跏像	1 軀	平 5.3.3	(宗) 延命寺
10	〃：〃	木造 観音三十三応現身立像	33 軀	平 12.9.30	(宗) 光明寺
11	〃：〃	木造 白衣観音菩薩坐像（聖観音菩薩坐像）	1 軀	平 22.12.10	(宗) 明王院
12	〃：〃	木造 閻魔王坐像	1 軀	平 25.2.20	(宗) 妙楽寺
1	〃：建造物	金目観音堂二（仁）王門	1 棟	昭 60.11.25	(宗) 光明寺
2	〃：〃	北金目神社本殿	1 棟	平 6.10.20	(宗) 北金目神社
1	〃：古文書	光明寺古文書	2 巻	昭 35.3.31	(宗) 光明寺

2	〃	〃	清田家(尼屋)文書	6通	昭37.2.8	個人(平塚市博物館寄託)
1	〃	古記録	光明寺縁起書	1巻	昭35.3.31	(宗)光明寺
2	〃	〃	駒形神社棟札・勸化札	11枚	昭35.10.30	(宗)駒形神社
3	〃	〃	北条氏所領役帳	1冊	昭61.1.24	個人(平塚市博物館寄託)
1	〃	考古資料	「国厨」墨書土器他 稲荷前A遺跡 第1地点1号竪穴住居址出土資料 一括	—	平16.10.1	平塚市教育委員会
2	〃	考古資料	変形四獣鏡他 真土大塚山古墳出土資料 一括	—	平22.2.1	平塚市教育委員会
3	〃	考古資料	弥生土器 広口壺1点、長胴壺1点	2点	平27.2.4	平塚市(土沢中学校所蔵)
4	〃	考古資料	弥生土器 壺6点、甕1点、小形筒形土器1点、小形鉢形土器1点	9点	平27.2.4	東海大学
5	〃	考古資料	弥生土器 甕2点	2点	平27.2.4	平塚市教育委員会
6	〃	考古資料	佐波理匙他 山王A遺跡第4地点1号掘立柱建物跡出土埋納資料	1括	平28.2.3	平塚市教育委員会
7	〃	考古資料	把手付き片口鍋他真田・北金目遺跡群18A区(大久保遺跡)3号竪穴住居跡出土資料一括	1括	平30.2.26	平塚市教育委員会
8	〃	考古資料	三筋壺と伊勢型鍋	2点	令4.12.28	平塚市
9	〃	考古資料	鏡前社金具	1点	令4.12.28	平塚市
1	〃	民俗資料	乙女文楽首(56点)衣裳(167点)他一括	—	平17.11.28	平塚市教育委員会
1	〃	工芸品	鉄舌長鍔	1点	平26.1.30	平塚市(平塚市博物館所蔵)
1	無形	民俗	田村ばやし	—	昭51.11.24	田村ばやし保存会
2	〃	〃	前鳥神社祭事	—	昭54.2.20	前鳥神社祭事保存会
3	〃	〃	前鳥囃子	—	昭61.1.24	前鳥神社囃子太鼓保存会
4. 国登録有形文化財 5件(建造物5)						
No.	種別	名称	員数	登録年月日	所有者・保持団体	
1	建造物	旧横浜ゴム平塚製造所記念館	1棟	平16.7.23	平塚市	
2-5	建造物	原家住宅	4棟	平31.3.29	法人	
合計			64件			